

NEXT CONCERTS  
》 次回東京定期演奏会

第 **760** 回

サントリーホール

2024年 **5月10日(金)** 19:00開演

**11日(土)** 14:00開演

フルート  
澤谷 夏樹氏  
18:30~

**マーラーと歩むマエストロ、カーチュン・ウォンが  
全てをかける特別な時間**

指揮: **カーチュン・ウォン**  
[首席指揮者]

マーラー: 交響曲第9番 二長調



©Angie Kremer

1回券料金 S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C 完売 P ¥4,000 Ys (25歳以下) ¥1,500

※障害者手帳をお持ちの方は割引がございますので、サービスセンターにお問い合わせください。

## 次回東京定期演奏会指揮者にインタビュー!

カーチュン・ウォン 編

きき手 八木 宏之

—2023年10月に開催されたカーチュンさんの首席指揮者就任披露演奏会では、マーラーの交響曲第3番が演奏され、日本フィルの新時代の幕開けに熱狂的な拍手が送られました。

マーラーの交響曲第3番では、ステージにいた全てのアーティストたちが、最高のパフォーマンスを発揮して、素晴らしい成果を上げることができました。とりわけオーケストラは、エクセレントという言葉をはるかに超えた圧巻の演奏を聴かせてくれました。日本フィルにとって、そしてファンの皆さまにとって、今後の基準となる演奏だったと思います。

—5月の東京定期演奏会でもマーラーの交響曲が取り上げられますが、今回演奏される第9番は、第3番とは性格の異なる作品です。カーチュンさんがこの交響曲と出会ったときのことを教えてください。

私が初めてマーラーの交響曲第9番の実演に接したのは、2010年のルツェルン音楽祭でのことです。クラウドイオ・アバドと、彼がメンバーを1人ひとり選んだルツェルン祝祭管弦楽団の演奏を聴いて大きな衝撃を受けました。当時の私はまだ、第9番について深く勉強していたわけではありませんでした。癌との戦いの末に指揮台に戻ってきたアバドにとって、特別な意味を持つ作品であることはすぐに理解できました。

—マーラーが完成させることのできた最後の交響曲である第9番は、しばしば「死」と結びつけて語られます。一方で、この交響曲にマーラーの死を重ねることが作品の理解を妨げるという意見もありますが、カーチュンさんはこの点をどのように考えていますか?

この交響曲は人間の死そのものよりも、人が死んでいく過程を描いている作品です。第4楽章の最後の数ページは、音がとても少ないのですが、演奏には長い時間を要します。生命が人間の身体を去っていく様子をこれほどリアルに音楽化した例はほかにないでしょう。

マーラーが「第9番」のジグスを恐れて、9番目に《大地の歌》を作曲した後、10曲目の交響曲として第9番を完成させたというエピソードはよく知られていますが、マーラーは自らの死を意識してこの交響曲を書いたわけではなく、より普遍的な人間の最期を描きかかったのだと思います。マーラーは第9番以降も作品を書き続けるつもりでした。チャイコフスキーの交響曲第6番《悲愴》の第4楽章が、彼自身のこの世への別れであるのに対して、マーラーの第9番のそれはより客観的な視点を持っているのです。

—カーチュンさんは若く、健康で、先ほどお話に挙がった晩年のアバドのように、死と対峙しているわけではありません。そんなカーチュンさんは、いかにしてこの交響曲のテーマである死のプロセスと向き合われるのでしょうか?

確かに私はまだ30代なので、普段から死について考えているわけではありませんが、周りの人の死を経験したことはありますし、他者の死を通して人が死ぬということについて学んでいます。

マーラーはこの交響曲を49歳のときに書きました。この作品は80歳の老作曲家の手によるものではないのです。モーツァルトもそうであったように、マーラーは若くして死というものを理解していました。娘の死や自らの心臓病がマーラーに死を教えたのです。第1楽章の冒頭では、秋を思わせる懐かしい響きのなかで不規則なリズムが聞こえてきますが、バーンスタインはこれをマーラーの心臓の鼓動だと語っています。

自らの死を意識した老境の指揮者でなくてもこの交響曲を指揮することはできますし、その精神の崇高さを理解することもできるのです。私が80歳になったとき、第9番に対する考えは変化していると思いますが、5月の公演では今の自分にしかできない演奏を聴いていただきたいと思っています。

—カーチュンさんがどのような演奏を聴かせてくださるのか、とても楽しみにしています。

助成:



文化庁  
Agency for Cultural Affairs,  
Government of Japan

文化庁文化芸術振興費補助金  
(舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援))  
独立行政法人日本芸術文化振興会



公益財団法人アフィニス文化財団 公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団